

日本カトリック神学会 第37回学術大会

総合テーマ

「日本の近代国家形成期のカトリック神学」

日程：2025年9月8日（月）～9日（火）

会場：日本カトリック神学院

〒177-0052 東京都練馬区関町東 2-7-10

TEL 03-3920-2121

会 場：大講義室

控 室：小講義室

懇親会：食堂

<9月8日(月)～大会1日目～>

時間	プログラム	内容	場所
9:00	受付開始		
9:30	開会の挨拶	竹田文彦(理事長)	大講義室
9:40～11:10	基調講演	講演テーマ:「岩下壮一の思想と実践」 講演者:田中 裕氏(上智大学名誉教授) 司会:阿部仲麻呂	大講義室
11:10～11:20	休憩		
11:20～12:00	コメンテーター	黒住真氏(東京大学名誉教授) 桑原直己氏(筑波大学名誉教授) 司会:阿部仲麻呂	大講義室
12:00～12:20	質疑応答	会場・参加者との質疑応答 司会:阿部仲麻呂	大講義室
12:20～13:00	昼食休憩	※弁当は事前予約、事前振込支払い	食堂 小講義室
13:00～15:40	研究発表 人数:4名 発表:各40分 ※発表:30分 質疑応答:10分	発表① 阿部仲麻呂(日本カトリック神学院 教授) 「日本の近代国家形成期のカトリック神学の背景 ——第一バチカン公会議の影響をめぐって」 発表② 小林由加(上智大学 神学研究科 博士後期課程) 「「開かれた道徳」は如何にして可能か ——「フィリップポ寮」の寮監吉満義彦——」 発表③ 佐々木 恵子(鹿児島市立美術館 学芸嘱託員) 「第2次世界大戦下の日本におけるキリスト教思想 ——吉満義彦、南原繁を中心に——」 発表④ 渡邊千秋(青山学院大学国際政治経済学部 教授) 「カトリック平信徒、岡延右衛門の 政治活動に関する一考察」	大講義室
15:40～15:50	休憩		
15:50～17:50	研究発表 人数:3名 発表:各40分 ※発表:30分 質疑応答:10分	発表⑤ 角田佑一(上智大学神学部神学科 准教授) 「教皇レオ13世の後期キリスト論における 位格的合一の構造」 発表⑥ 中尾直通(京都大学大学院博士後期課程) 「証聖者マクシモスの原罪論」	大講義室

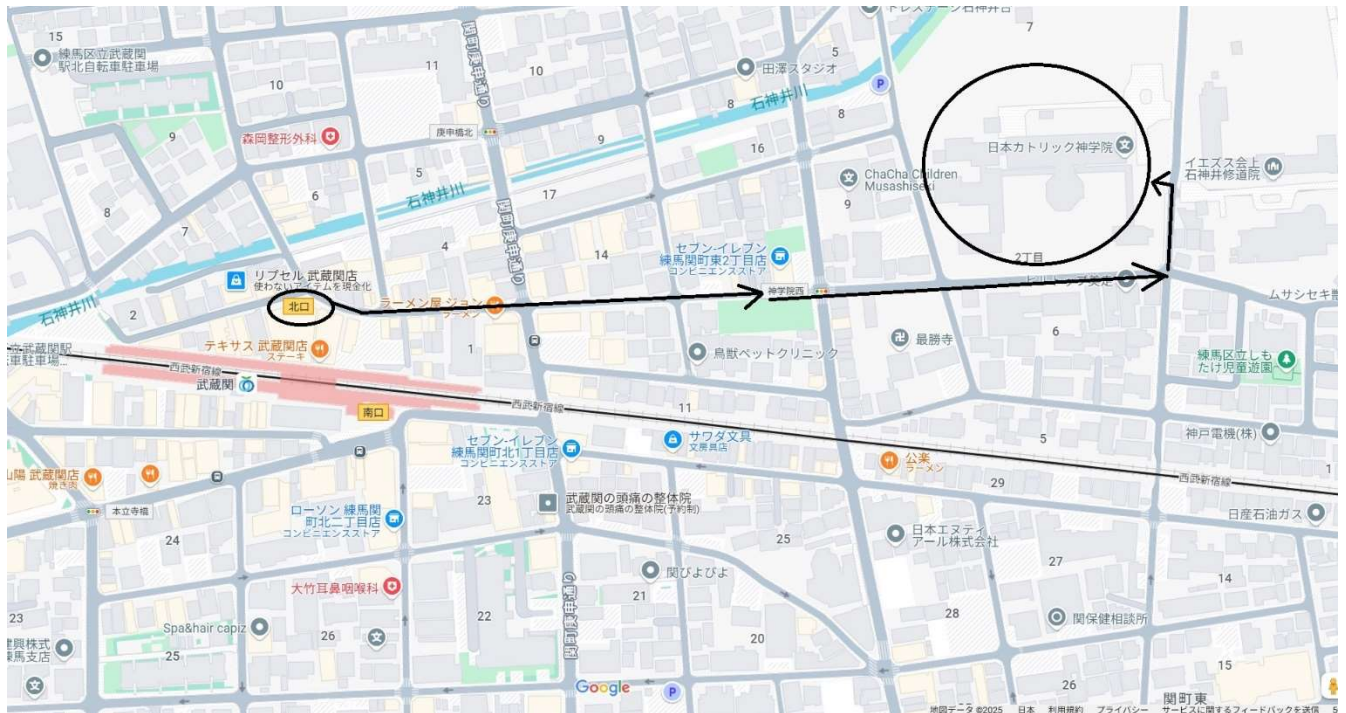
時間	プログラム	内容	場所
		発表⑦ 山口隆介（聖泉大学人間学部 講師） 『命題集』との対話 —トマス・アクィナス 『命題集註解』におけるアガペー—	
17:50～18:00	休憩		
18:00～19:00	総会	※写真撮影	大講義室
19:00	情報交換会	※参加は事前申込、事前会費振込 会員 ¥5,000、学生 ¥1,000	食堂

<9月9日（火）～2日目～>

時間	プログラム	内容	場所
9:00	受付開始		
9:10～11:10	研究発表 人数：3名 発表：各40分 ※発表：30分 質疑応答：10分	発表① 中村真希（上智大学 神学研究科 博士後期課程） 「旧約聖書の物語における祈りの分析 —ヒゼキヤの祈りに関する一考察—」 発表② 田口哲郎（東京大学大学院人文社会系研究科宗教学研究室博士課程） 「リジューの聖テレーズの信仰 —詩と散文の比較を通して—」 発表③ 森永恵理華（上智大学 神学研究科 博士後期課程） 「現代におけるキリスト者の自己同一性を導く ロマーノ・グアルディーニ思想 —「カトリック世界観」を通して見えるもの」	大講義室
11:10～11:20	10分休憩		
11:20～13:20	研究発表 人数：3名 発表：各40分 ※発表：30分 質疑応答：10分	発表④ 島村絵里子（淑徳大学他 非常勤講師） 「ミシェル アンリのキリスト論に見る人間理解」 発表⑤ 宮崎正美（仙台白百合女子大学人間学部 教授） 「「内在するキリスト」の課題 ——量子力学の時代における捉え直しについて考える」 発表⑥ 鈴木敦詞（オリエンズ宗教研究所 職員） 「リゾーム・ツリー 教会論 実践編（2） 土壌を腐らせないために」	大講義室
13:20	閉会の挨拶	竹田文彦（理事長）	大講義室

日本カトリック神学院 アクセスガイド

【地図】



【アクセス】

西武新宿線 武蔵関駅北口を出て、すぐの通りを東へ（右へ）約10分。

途中にセブンイレブン角に神学院西の交差点があり、

直進すると左手に神学院の緑が見えます。通り過ぎた交差点を左折、神学院の玄関が左手にあります。

※神学院に駐車場はございません。公共交通機関でお越しください。